

## 花あっちこっち

### キキョウ（桔梗）

花ことば：永遠の愛



鐘形の青紫の花をつけるキキョウ(桔梗)は、秋の七草の一つ、東アジアに広く分布する多年草で日本人にも馴染みの深い野草である。秋の花の印象があるが、山では初夏から咲き始めている。可憐で紫色の花は、いかにも優しげな花だ。

英語ではつぼみがふくらんだ風船のようなので「バルーン・フラワー (Balloon flower)」と呼ばれる。

古くから日本人にとってなじみ深いキキョウだが、近年その個体数が減少し、環境省によって絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）に指定されているという。

またその根は、昔から生薬として用いられ、その根は鎮咳、鎮痛、鎮静、解熱作用があるとされている。

「桔梗の花 咲く時ぽんと 言ひそう」 加賀千代女

## 耳寄り情報

### 歴史を楽しむ会

代表 島津 浄 ☎301-6192



「歴史を楽しむ会」は、区役所の生涯学習講座「歴史を楽しむ」を終了後に、更に歴史・史跡を通じて親睦を深めようという主旨に賛同された会員有志により、同好会として平成11年3月に「歴史を楽しむ会」として発足し、18年目を迎えました。

会は、皆さんが希望する訪問カ所（歴史・史跡・寺社）を、運営委員が実地調査を行い、説明資料を作成し当日配布ガイドしている。

訪問先は県内を主として、県外も年1回くらい入れている。

会員数は現在45名を数えている。

井嶋 記

## まちかど

### あの町この町

### ⑮下瀬谷（しもせや）

昭和56年の町界町名地番整理事業の施行にともない、瀬谷町の一部から新設した町。町名は地元の要望により、通称として定着していた字名を採った。東側を相沢川が流れ、二・三丁目の北西側を道が通る。

また、バス停「下瀬谷橋」近くに、勢至菩薩を本尊として祀っている全通院勢至堂があり、現在の本堂は棟札から江戸時代・寛政9年（1797）建築と確認されている。

市名木古木指定の山フジの大樹もあり、5月になると見事な花が咲き参詣者の目を楽しませてくれる。



下瀬谷一丁目27・全通院勢至堂

編集メンバー：井嶋 清吉、石井 俊和、稲垣 庸子、梅田 一好、鈴木 正志、竹見 修二、玉垣チヅ子、  
辻 善之、寺谷 宗也、東 七男、深谷 正行、松永 清男、室伏 敬二